

1 緒言 「おもしろい研究」from Osaka

1 Introduction

北澤 茂

KITAZAWA Shigeru

CiNetは「脳情報通信融合研究センター」の略称です。脳と情報通信を融合する研究とは一体どういう研究なのでしょう。17世紀フランスの哲人デカルトは脳を詳細に観察した上で『人の「こころ」は「脳」に宿る』と喝破しました。脳にはどうやって「こころ」が宿るのでしょうか。他方、情報通信の理論を作り上げた20世紀の天才シャノンは「情報工学には意味は不要だ」と述べました。意味のない情報なんて、私には意味がわかりません。でも、意味を捨ててメッセージの「数」だけに注目したおかげで、^{はちめんろっぴ}電信、電話、コンピュータからスマホに至るまで八面六臂の活躍を見せる情報通信の基礎が築かれたのでした。

実は、「情報」の意味を回復するのは私たちの脳に鎮

座している「こころ」なのです。私たちはシャノンが捨てた情報の意味を、脳がどのように回復するのか、を明らかにします。そして、デカルトが立てた究極の間「機械としての脳に、どのようにして心が宿るのか」に回答を与えます。見て聞いて感じて思いやることができる「こころ」を持つ人工の脳、CiNet Brainを作ることが私たちの究極の目標です。本特集号では、2018年から2022年までの研究成果に焦点を当てて、研究者自身によって解説が行われています。CiNet Brain確立に向けた私共の歩みを感じていただくとともに、大阪から発信する「おもしろい研究」への期待を持っていただければと思います。



北澤 茂 (きたざわ しげる)

未来 ICT 研究所
脳情報通信融合研究センター
研究センター長
医学博士
神経科学
【受賞歴】

2018年 第27回中山賞大賞 中山人間科学振興財団

2003年 Excellent Paper Award, Neuroscience Research

1999年 第13回塚原仲晃記念賞 ブレインサイエンス振興財団